

一 般 質 問 通 告 書

令和6年5月16日

議 会 議 長 様

議席番号 14 番

議員氏名 平 川 忠 良

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. がん患者等の生活支援策の提案	<p>(1) がん治療や手術などによる外見（アピアランス）ケアに社会的な関心が高まっています。医療用ウィッグ（かつら）や乳房補整具の購入費の一部の助成を、今年4月時点で全国647自治体が実施しています。</p> <p>蓮田市では、がんの治療に伴う外見の変化を補うためのアピアランスケア用品購入に要する費用の一部、ウィッグは上限3万円・補整具等は上限2万円までの補助制度を令和5年10月より開始しました。ぜひ当町でもこの補助事業導入を提案しますが、以下、伺います。</p> <p>①これまでの当町の導入の検討は。</p> <p>②埼玉県は令和6年度予算で、がん治療に起因する外見（アピアランス）の変化に苦痛を感じる患者に、ウィッグ・補整具等の購入費用の助成を実施する市町村に対し、助成額2分の1（上限5000円）の補助事業を実施します。補助事業導入を提案しますが、見解は。</p> <p>③導入自治体でさらに「脱毛症」も対象に拡大した例もあることから、当町でも独自で導入の検討を提案するが、見解は。</p> <p>(2) 令和5年3月議会の私の一般質問で、AYA世代（15歳から39歳）がん患者への在宅療養支援制度の創設を提案しました。今後調査研究を進めるとの答弁でした。以下、伺います。</p>	町長 副町長 健康支援課長 担当課長

5月16日 午前・午後9時0分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. 带状疱疹ワクチン接種費用助成の検討は</p>	<p>①これまでの検討結果は。(調査研究内容)</p> <p>②埼玉県は、令和6年度予算でAYA世代の終末期がん患者が自宅で安心して療養生活を送ることができるよう、在宅療養に必要な生活支援費用の助成を行う事業を以下のとおり実施します。</p> <p>(ア) 訪問介護・訪問入浴介護・福祉用具貸与 市町村助成額の1/2(上限36,000円/月)</p> <p>(イ) 福祉用具購入 市町村助成額の1/2(上限45,000円・1回)</p> <p>(ウ) 意見書作成料 市町村助成額の1/2(上限2,500円・1回)</p> <p>当町でも補助事業の導入を提案しますが、見解は。</p> <p>带状疱疹は、体内に潜んでいる水痘(水ぼうそう)・带状疱疹ウイルスが、体力の低下(心身のストレスや加齢など)により活性化し、体の一部にピリピリ刺すような痛みとともに、赤い斑点と小さな水ぶくれが带状にあらわれる皮膚の疾患です。50歳代から発症しやすくなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれています。また、皮膚の水疱が消えてからも50歳以上の2割の方が、長い間痛みが残る「带状疱疹後神経痛」になるといわれています。令和4年12月議会で伊藤議員が一般質問し、带状疱疹ワクチン接種費用の助成の提案をしています。以下、伺います。</p> <p>(1) これまでの検討の進捗は。</p> <p>(2) 近隣では、宮代町が令和6年5月から、春日部市が令和6年7月から带状疱疹ワクチン接種費用助成を開始します。当町でも任意接種ではあるが、町民の生命を守り、負担軽減のため、带状疱疹ワクチン接種費用助成の提案をするが、見解は。</p>	<p>町長 副町長 健康支援課長 担当課長</p>

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>3. 「軟骨伝導イヤホン」導入の推進を</p>	<p>(1) 耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションを取れるようにするため、役所窓口などで耳の軟骨を振動させて音を伝える「軟骨伝導イヤホン」を導入する動きが出ています。「軟骨伝導イヤホン」は、耳の入り口付近にある軟骨を振動させて音を伝える仕組みで音漏れも少なく軟骨に軽く当てるだけで、イヤホンとつないだ集音器で拾った職員の声ははっきり聞こえます。当町役場を訪れた高齢者や難聴者の住民サービス向上のためにも「軟骨伝導イヤホン」の導入を提案するが、見解は。</p> <p>(2) 令和5年3月議会での一般質問で補聴器助成の提案をしました。また、今回取り上げた「軟骨伝導イヤホン」という新しい機器も発売されました。加齢性の難聴に悩む高齢者の負担軽減のため、補聴器等の助成を提案しますが、これまでの検討内容と助成への見解を求めます。</p>	<p>町長 副町長 高齢介護課長 担当課長</p>